

令和5年度 第2回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和5年5月9日（火）**17:00 - 18:30**

会場：レインボーセンター 多目的ホール

1 開 会 **17:00 - 17:02**

2 会長あいさつ **17:02 - 17:05**

3 議 題 **17:05 - 18:25**

【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について
（まちなか居住推進事業の直江津地区の取組状況について）

【報告事項】

- ・市民いこいの家の利活用について

【協議事項】

- ・地域活性化の方向性について
（住民の皆さんとの意見交換会の実施について）

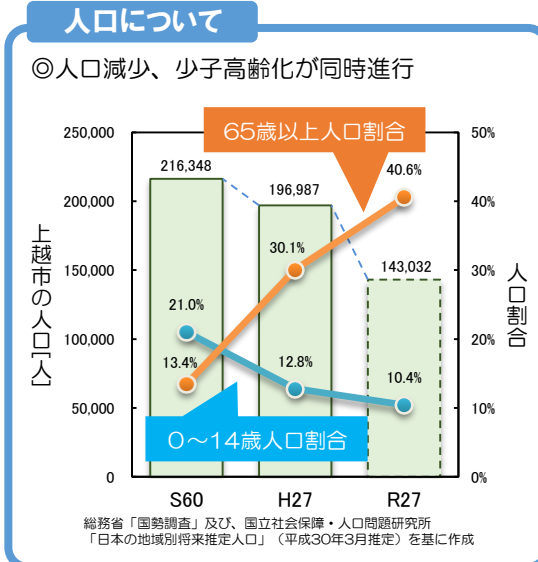
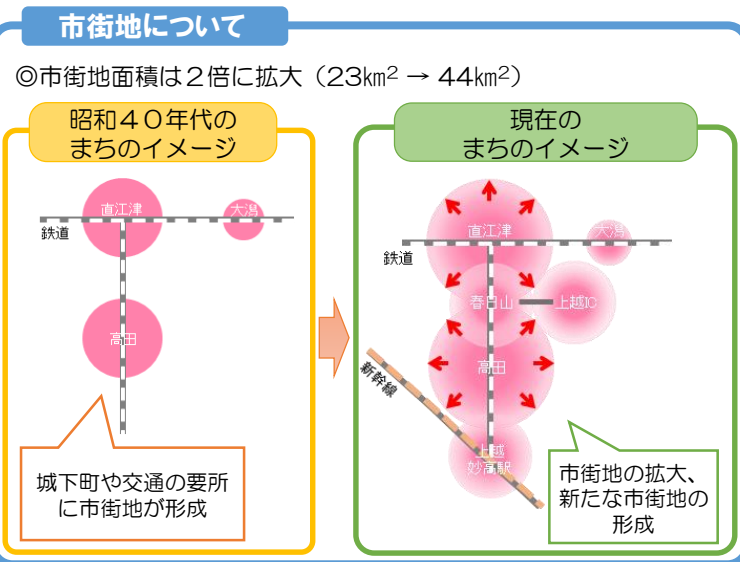
4 その他 **18:25 - 18:30**

- ・次回地域協議会
 月 日（ ）午後6時30分～ レインボーセンター 多目的ホール

5 閉 会

-上越市の現状-

- ◎人口増加社会・高度経済成長・車社会への移行などを背景に、現在の市街地は昭和40年代に比べて面積は約2倍になっている。対して人口は昭和60年の約216,000人をピークに減り続け令和27年には約143,000人まで減少すると予測されている。
- ◎このままでは、公共サービスの低下や維持管理費の増加等、市民の負担は増加し、また、お店や施設などの移転・撤退も進み、暮らしにくいまちになっていくことが想定される。



-これまでの動き-

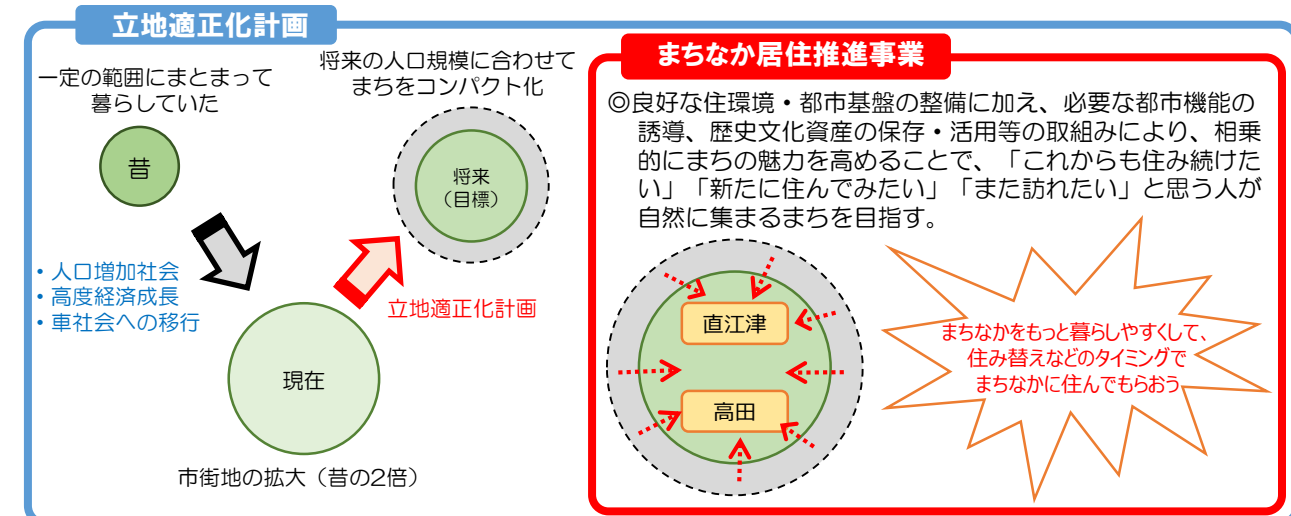
平成29~30年

◆立地適正化計画の作成

- このような現状への対策として、上越市では利便性の高い中心市街地や各地域拠点に医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまり、人口が減少する中でも持続可能なまちを目指すため、平成29年に『立地適正化計画』を作成。

◆まちなか居住推進事業の事業化

- 立地適正化計画の具体的な取組として、まちなかをもっと暮らしやすくし、今住んでいる方に住み続けていただくことはもちろん、まちなか以外の方が建て替えや住み替えなどのタイミングで新たにまちなかに住んでもらうため、平成30年から「まちなか居住推進事業」をスタート。



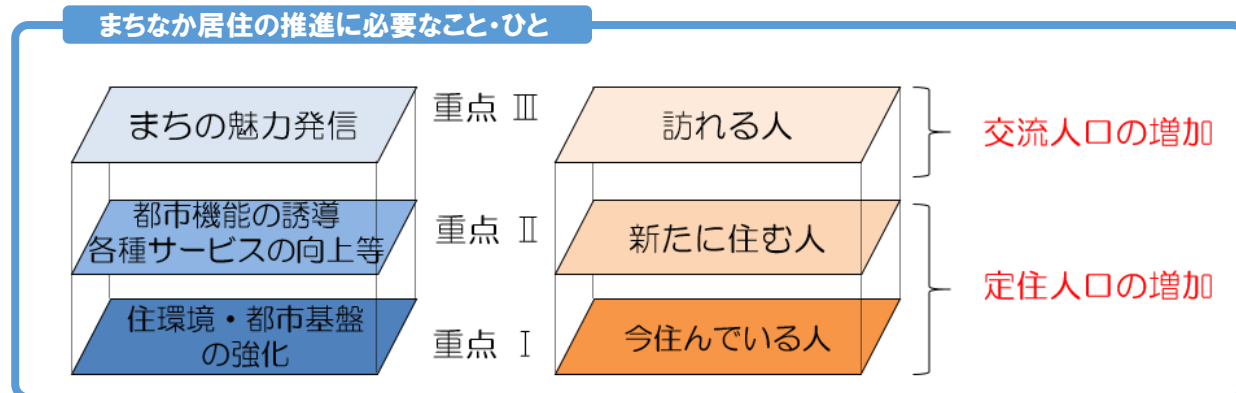
令和元年~令和2年

◆現状や課題、将来像や施策について庁内で検討

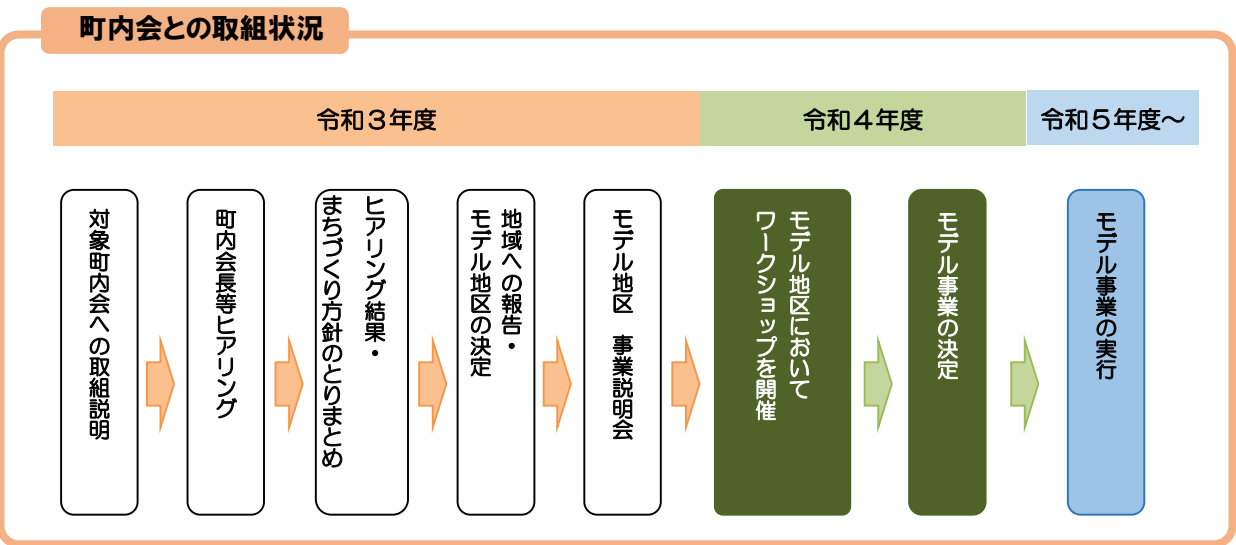
- 令和元年度は都市整備課内で、令和2年度はアドバイザーを交えて事務局内(都市整備課、企画政策課、建築住宅課、商業・中心市街地活性化推進室)で検討

◆まちづくりの方向性

- 良好な住環境・都市基盤の整備に加え、必要な都市機能の誘導、歴史文化資産の保存・活用等の取組により、相乗的にまちの魅力を高めることで「これからも住み続けたい」「新たに住んでみたい」「また訪れたい」と思う人が自然に集まるまち



令和3年~令和5年以降





移住者等インタビュー

直江津にUターンされた船木さん、また高田から直江津のまちなかに移住されたNさんに、「直江津のまちなかに住むこととなったきっかけ」「住んでみた住み心地」「今後も住み続ける、新たに住んでもらうためには」などについてお伺いしました。

船木 康雄さん（福永町出身、東京都よりUターン）

- 最大の理由は「祇園祭に出たかったから」です。
ゆくゆくは実家の美容院を継ぐために戻る予定でしたが、きっかけになったのは、カットコンクールの全国大会で賞をもらったこと。ちょうど結婚、出産と重なったこともあります。
- 妻は、買い物や子育ての面では、かなり便利だと言っています。
妻も最初は「風で家が揺れることがあり得ない」「隣同士の家がくっついていて、声も丸聞こえだ」と心配していましたが、買い物や子育ての面については、便利だと言っています。妻の実家にも夜祭りがあるので、祭りやコミュニティにも理解があります。
- 空き家や空き地の情報をうまく活用することですかね。
同級生にも土地の形状や広さ、タイミングも合わなかったため、帰るのを断念してしまった人がいます。自分は、たまたまよい中古物件が福永町にあったので買うことにしました。元々は二軒分の家でしたが、床暖房が入っていて、浴室も洗い場が広いタイプになっているなど、ある程度リフォームもされていたので快適に暮らしています。



Nさん（柏崎市出身、高田より移住）

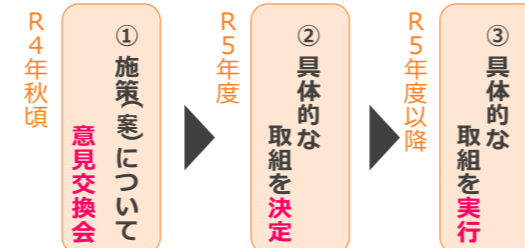
- 不動産業者の方に「お年寄りが多くて、穏やかに育てられるのでは」と言われたことに納得したことが決め手です。
子どもが小学校に入る前に、出身の柏崎に戻るか中学時代に過ごした直江津に住もうかと考えていました。柏崎は、小児科など子どもに何かがあった時の施設があまり充実していない反面、直江津は、小児科などが充実し、ちょっとした土地勘もあったので直江津を選びました。
- 最初はドキドキしましたが、皆さん親切なので困りごとはありません。
町内の団結力にちょっと圧倒されましたが、いろいろ話したり、交わることで不安は解消されました。隣近所の方々に子供たちが見守られている感じなので住んでよかったと思っています。
- 空き家をリノベーションし、快適に過ごせるというモデルハウスを見てもらうのが良いと思います。
学校が近くて子どもを育てる環境としては良い所だということをしてPRしたり、「こんな感じにリフォームできる」ということは、実際に見てもらわないとわからないので、内覧会をするのはどうでしょうか。



今後の進め方等

今回のワークショップで皆さんからいただいたご意見を踏まえ、上越市まちなか居住推進事業事務局において**施策（案）を作成し、9～10月頃にモデル地区との意見交換会を開催**する予定です。

そして令和5年度からは、**モデル地区3町内において具体的な取組を決定・実行**したいと思っています。



「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す**新しいまちづくり**の取組です！

本紙やホームページを通じて事業の取組内容や進捗状況を定期的にお知らせしています。今回は、モデル地区3町内で行った**ワークショップの概要**や**移住者インタビュー**等についてお伝えします。

ワークショップの概要

モデル地区3町内ごとに、5月から8月にかけてワークショップを行い、**町内の魅力や困っていることを洗い出し、目指すまちの将来像や具体的な取組**などを検討しました。

第1回

- 町内の魅力や困っていること
- 解決策（アイデア出し）



第2回

- どういうまちにしていきたいか？
- どこで、どういうことができそうか？



第3回

- どこで、何ができそうか？
- 住民・民間事業者・行政それぞれ何ができそうか？



埴アドバイザーからのアドバイス



まちづくりアドバイザー 埴正浩 (ちち・まさひろ) 氏

- まちなか居住は、行政だけで出来るまちづくりではなく、**住民の皆さんが主体**となって考え、住民・民間事業者・行政が、協働で進めるまちづくりです。
- 先行してモデル事業に取り組んでいる高田地区では、「子どもの時の思い出も多く、このまちで子育てをしたい」ということで、本事業で創設した**リフォーム補助**を活用し、**ご両親と同居を始められる方**もおられます。
- 今回のワークショップを踏まえ、行政では支援策が検討されます。今後は、**一つでも二つでも具体的な取組を進めていきましょう！**

モデル地区 3 町内のワークショップで出された主な意見

町内の魅力は？

- 水害がない
- 近所づきあいがよく、世代間のコミュニケーションがある
- 祇園祭コミュニティにより結束感がある
- 海が近く、夕陽がきれいで魅力的

困っていることは？

- ×空き家が多い
- ×土地の形が細長い、駐車スペースがない等
- ×土地の権利関係が複雑
- ×住宅が密集し、火事が心配
- ×子どもが遊べる公園がない
- ×海が近く強風、塩害が発生

福永町



目指すまちの将来像

- 高齢者にやさしく、交流・活躍できるまち
- 遊び場も多く、安全で安心、子育てしやすいまち
- 若い世代に選ばれ、Uターンしやすいまち
- コミュニティに協力的でにぎわうまち
- 海を感じ、活かしたまち
- 祇園祭を大切に継続できるまち



具体的な取組 (例)

- 2戸を1つに
 - ・行政と連携して所有者の意向確認
- 高齢者施設建設+道路拡幅
 - ・所有者意志確認
 - ・拡幅分の土地は寄付等を検討
- 建物改修+リノベ・ビフォーアフターPR
 - ・建物リフォーム支援
- 相談窓口設置
 - ・空き家予備軍の相談窓口を設置し、住める状態で次のユーザーへつなぐ



町内の魅力は？

- 三八朝市は便利
- 南北方向の道路は幅が広い
- 災害が少ない
- 地域コミュニティが強い
- 祇園祭が魅力
- みなとまちの歴史がある

困っていることは？

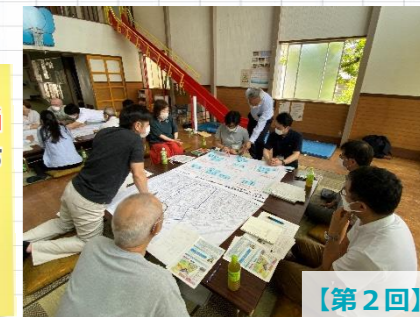
- ×空き家が多い
- ×土地の形が細長い、駐車スペースがない等
- ×店が減っている
- ×海が近く強風、塩害が発生
- ×排雪場がない
- ×町内のコミュニティが強く、よその人が入りにくい

天王町



目指すまちの将来像

- 高齢者が元気で、交流・活躍できるまち
- 子どもが多く、子どもの声が聞こえるにぎやかなまち
- 若い人も住みやすく、循環するまち
- 祇園祭の中心、当事者になれるまち
- コミュニティを大切に、人の交流があるまち



具体的な取組 (例)

- 空き家の利活用
 - ・行政と連携して所有者の意向確認
 - ・有償ボランティアで片付け
- 旧つたや旅館利活用
 - ・活用方策検討
 - ・町内ぐるみで掃除
- ライオン像の裏庭利活用
 - ・西日よけ・ベンチなど施設整備
- ライオン像周辺の空き地利活用
 - ・町内総意の活用方法を行政とともに検討・協議



あけぼの

町内の魅力は？

- 直江津駅前には商店街等もあり高齢者に便利
- 直江津駅があり、バスも充実公共交通が利用しやすい
- 飲み屋があり、夜は賑やかだが昼は静か
- 幼稚園や学校が近い等、子育てしやすい環境
- 祇園祭コミュニティにより結束感がある
- 雁木など特徴的なまちなみ

困っていることは？

- ×空き家・空き店舗が多い
- ×借地が多く土地の権利関係が複雑
- ×酔っ払い、ポイ捨て等マナーが悪い
- ×徐々にお店が減っている
- ×幼稚園の近くに子育て世代向けのアパートがない
- ×店舗はあるが、居住者が少なく、町内活動が困難
- ×うみがたりのお客さんの回遊が少ない

目指すまちの将来像

- 子どもが愛着を持ち、主体的に関わるまち
- 魅力のある店舗があり、活気のある商店街No.1を目指すまち
- 家族で楽しみ、子育て世代が住みたくなるまち
- 変化があり、立ち寄りたくなるまち
- 駅前立地や鉄道といった特色を活かしたまち

具体的な取組 (例)

- 空き店舗活用
 - ・行政と連携して所有者の意向確認
 - ・お試し出店
- 空きビル利活用 or 解体
 - ・所有者の意向確認
 - ・シェアオフィスなど利活用支援
- 互の市での集客イベントの定期開催
 - ・商店街ブースでの出店
- 景観統一
 - ・地域のルールづくり
 - ・歩道と雁木下の改修等



ワークショップとは

様々な立場の人々が、自ら参加して、お互いを尊重しながら、意見をまとめていく共同作業です。



地域協議会資料
令和5年5月9日
高齢者支援課

市民いこいの家の利活用について

老朽化している春日山荘で実施している高齢者の趣味講座の一部を移転し、高齢者の趣味活動の場として活用するとともに、趣味活動の作品展示の場、無料で利用できる共有スペースを設置し、広く市民が使える施設として改修し、令和6年4月にリニューアルオープンする。

- 1 直江津区地域協議会の答申（R4.10.14）における附帯意見について
「市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について」の諮問に対し、「趣味活動の利用者だけでなく、広く市民の方が使える施設となるよう配慮してください」との附帯意見があった。
- 2 附帯意見に対する対応案について
 - ・直江津区の「すこやかサロン」の開催
 - ・無料でお使いいただける「共有スペース」の設置
 - ・市民ニーズを踏まえた管理方法（開館時間、休館日）の検討 など
- 3 直江津区地域協議会への諮問事項について
 - ・既存施設の管理方法の変更について（開館時間、休館日の変更）
- 4 スケジュールについて（予定）

直江津区地域協議会	施設改修等
6月～7月…意見交換	6月…改修工事着工
8月…諮問（既存施設の管理方法の変更）	12月…市議会へ関連条例上程
9月…答申	4月…リニューアルオープン

住民の皆さんとの意見交換会の実施について（概要）

1 目的

「地域活性化の方向性」を作成にするにあたり、将来、直江津区をどのようなまちにしたいか、住民の皆さんの声をお聞きする。あわせて、新たな制度である「地域独自の予算」についての周知を図る。

2 対象者

- ・地域住民、地域の活動団体
- ・地域協議会委員

3 開催日時

令和5年5月27日（土）午後1時30分～午後3時30分（予定）

4 場 所

レインボーセンター

全体会：多目的ホール

グループで意見交換：A班…多目的ホール（1階）

B班…和室 松（2階）

C班…和室 竹（2階）

D班…和室 梅（2階）

5 周知及び申込方法

- ・「地域協議会だより」の回覧（広報上越4月25日発行と一緒に）、市ホームページへの掲載
- ・報道機関へ情報提供
- ・地域団体へ個別に案内送付
- ・委員から地域へ声かけ
- ・事前申込み（5月19日（金）まで）を基本とするが、当日参加も可とする

6 意見交換の進め方

- ・グループ単位での意見交換（参加者が意見を出しやすいように）
- ・8～10人程度×（4グループ）
- ・「直江津区をどのようなまちにしたいと思うか」について、個別にテーマを設定せず、自由に意見交換する。
※模造紙、ポストイット、マジック、ワークシート（別紙案）などを活用

7 今後どのような取扱いをするか

- ・「地域活性化の方向性」の検討の参考とする

「住民の皆さんとの意見交換会」の次第（案）

日時：令和5年5月27日（土）

午後1時30分～

会場：レインボーセンター

多目的ホールほか

- | | | |
|---|-------------------------------|-------------|
| 1 | 開 会 | 13：30～13：32 |
| 2 | 会長挨拶 | 13：32～13：35 |
| 3 | 内 容 | |
| | (1)地域協議会について（事務局説明） | 13：35～13：38 |
| | (2)地域独自の予算について（事務局説明） | 13：38～13：48 |
| | (3)意見交換の進め方について（事務局説明） | 13：48～13：50 |
| | （移動） | …5分 |
| | (4)意見交換開始 | 13：55～14：55 |
| | ① グループ内での自己紹介（及び進行係・記録係の確認） | |
| | ※地域協議会委員から予め進行役と記録・発表役を選ぶ | |
| | ② グループ内での意見交換 | |
| | ＜進め方例＞・各自アイデア出し（約10分） | |
| | ワークシート又はポストイットに書き出す | |
| | ・意見発表（約15分） | |
| | 模造紙にポストイットを貼りながら | |
| | ・意見交換（約20分） | |
| | ・まとめ（約10分） | |
| | （移動） | …5分 |
| | ③ 各グループの意見発表 | 15：00～15：27 |
| | ・グループごとに意見発表し、内容を共有する（各班5分程度） | |
| 4 | 副会長挨拶 | 15：27～15：30 |
| 5 | 閉 会 | |

直江津区をどのようなまちにしたいと思いますか

個性や特性をいかすために
課題を解消するために
現状をさらによくするために

項目	現 状	どうしていきたいか
魅力		
特性、個性		
次世代に残して いきたいもの		